

総合技術力で顧客満足度向上

北陸地方整備局金沢河川国道事務所から受託した平成26年度輪島道路(2期)予備設計(B)業務で、同年度完成優良委託業務事務所長表彰を受賞。管理技術者として携わった自身も優良建設技術者事務所長表彰というダブル受賞に、「聞いた時はただただ驚いた。栄誉ある賞をいただきありがたい」と喜びを隠さない。

同業務は能越自動車道の輪島インターチェンジ(IC)と三井ICの道路予備設計で、「地山が脆弱である」とことや砂

大日本コンサルタント北陸支社地域交通計画室長

古池 豊 氏

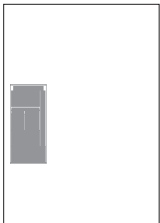


防河川、土石流危険渓流を横断することなどさまざまな災害リスクが想定される中で、緊急輸送路としての機能を確保する路線計画と道路構造選定が主な課題だった」と振り返る。このため設計に必要な

測量、地質調査のほか、現地踏査や地形判読などによる斜面評価の実施も業務初期段階で提案し、関連業務と連携して行ったという。さらに斜面防災や河川砂防、橋梁、トンネルなどについて同社が保有する技術を「総動員」信頼性と耐災害性の高い路線計画・道路構造を提案、工期短縮を図る全体工程も立案し、結果を設計に反映した」と胸を張る。

「近年、単独技術で完工する業務はほとんどない。周辺技術力を高く評価している。技術と連携し、総合技術力(全員野球)で顧客満足度向上に努める」と意気込む。

金沢河川国道事務所は表彰選定に際し「今後の河川協議を踏まえた丁寧で合理的な道路排水検討を行うとともに、地質調査不足の課題に対し、次年度以降も確実に引き継がれるよう、分かりやすく申し送り事項を整理した」と業務遂行態勢に着目。また「土量バランスと地すべりブロックに配慮した平面線形の設定や安全性と環境に配慮したトンネル縦断設計の見直しにより工期短縮を可能にした」と技術力を高く評価している。



技術に翔る

女性技術者のロールモデルに

北陸地方整備局利賀ダム工事事務所から受託した「平成25年度利賀ダム付替市道岩淵橋照査及び修正等設計業務」で2014年度完成優良委託業務事務所長表彰を受賞。管理技術者として同業務に携わった自身も優良建設技術者事務所長表彰に輝き、「身に余る光栄。この受賞を糧に女性土木技術者のロールモデルとなれるよう、一層の研さんに努めたい」と気を引き締める。業務は01年度に設計された岩淵橋について、最新の道路

大日本コンサルタント北陸支社
技術部構造保全計画室係長

吉澤 直子氏



橋示方書などを踏まえて照査、修正設計した。同橋がダム湛水域に位置し、貯水池周辺の水すべり地帯に架けられることから、「現況水位観測結果などを反映した適切な設計条件の設定と、災害時の橋間の包括的な意思疎通や関係者全員による会議を通じて方針決定、照査などを実施、成果品の品質向上と作業効率化を同時に図った」と振り返る。選定理由では維持管理を見据えた橋梁の修正設計とともに、「取付道路の地すべり対策、既設頭首工の撤去による河床変動の影響などを多角的にマネジメントし、的確な判断で新技術、新工法を取り入れた」と高く評価された。女性の活躍が目覚しい昨今、同社は「女性技術者の会（通称・なでしこ会）」を設立。「（女性が）働き続けやすい職場環境と一人ひとりが輝ける会社」を目指す。

梁としての機能維持が課題だった」という。設計条件の早期設定を念頭に置き、発注者の協力を得ながら、各種データを収集した。結果として「橋梁の形式検討や基礎選定などで、耐災害性の高い構造が提案できた」と胸を張る。また、橋梁だけでなく、地すべり、河川護岸と手掛ける設計分野が多岐にわたるため、各条件の確実な情報共有も課題となった。「共通メールアドレスを使用した受発注者間の包括的な意思疎通や関係者全員による会議を通じて方針決定、照査などを実施、成果品の品質向上と作業効率化を同時に図った」と振り返る。選定理由では維持管理を見据えた橋梁の修正設計とともに、「取付道路の地すべり対策、既設頭首工の撤去による河床変動の影響などを多角的にマネジメントし、的確な判断で新技術、新工法を取り入れた」と高く評価された。女性の活躍が目覚しい昨今、同社は「女性技術者の会（通称・なでしこ会）」を設立。「（女性が）働き続けやすい職場環境と一人ひとりが輝ける会社」を目指す。